

■はじめに

近年の携帯端末の普及や測位技術の向上により、様々な位置依存サービスが社会に広がりつつあります。また、様々な位置情報サービスに関する研究開発も活発に行われています。しかしながら、個々の研究成果は、運用面や予算面の問題で実際のサービスとして運用されることは少なく、また、実証実験が行われたとしても、継続的に運用を行うことは困難です。さらに、最近では、特定分野に特化し、クラウドソーシング（ボランティア）を活用した位置情報関係サービスや、自治体などが参加し、地域に特化した位置情報サービスが同時並行的に多数構築されています。しかし、これらのサービス間でのデータ交換は殆ど行われておらず、ユーザは必要に応じて異なるサービスを選択して利用する必要があります。

■NPO法人設立の意義

我々は「特定非営利活動法人位置情報サービス研究機構(Lisra)」を設立し、位置情報や位置に依存した情報（位置依存情報）に関する技術・サービスの研究・開発・教育・振興、および位置情報登録を行なうボランティアの支援を行うことにより、本技術の多方面への応用・発展を啓発し、社会への貢献と産業の振興を目指します。位置情報サービスのサービスの研究・振興等を進めるには、法人格を持った公共的な組織の存在が、情報共有やサービスの集約、継続性の確保の意味で大きな役割を果たします。我々は、本 NPO が、位置情報をとりまとめて流通させる**ハブのような役割**が果たせると考えています。ボランティアや自治体、公共交通機関、民間事業者の間に立ち「新しい公共」として位置関連情報を流通させることを大きな目的としています。特に国や自治体が有する様々な位置関連情報の活用手法の検討を進めます。また、位置情報に関したサービスを行なうためには、様々な技術基盤が必要です。Lisra では、最新の技術の調査・研究・開発を行ない、会員で共有していきます。位置連動広告、POI(Place of Interest)、屋内位置等については、様々な課題が存在しています。Lisra では、多様な実証実験を通じて、これらの技術の**可能性を追求**する予定です。これらの実験計画の策定や、実験結果の共有も会員内で行なう予定です。位置情報関係の最新情報や最先端のメンバーが集まる組織を目指します。

■法人の運営とシンポジウム

本法人は、理事会、運営委員会、総会によって運営されます。また、様々な WG を設立し、研究開発を行います。

2012年12月1日(土)に設立記念シンポジウムの開催を予定しています。これらについては、情報交換メーリングリストであらためてご連絡いたします。ぜひ、ご参加ください。

問い合わせ先: <http://lisra.jp>
Email: info@lisra.jp

以上

